

迅速な意思決定と IT プロフェッショナル
の生産性向上を実現

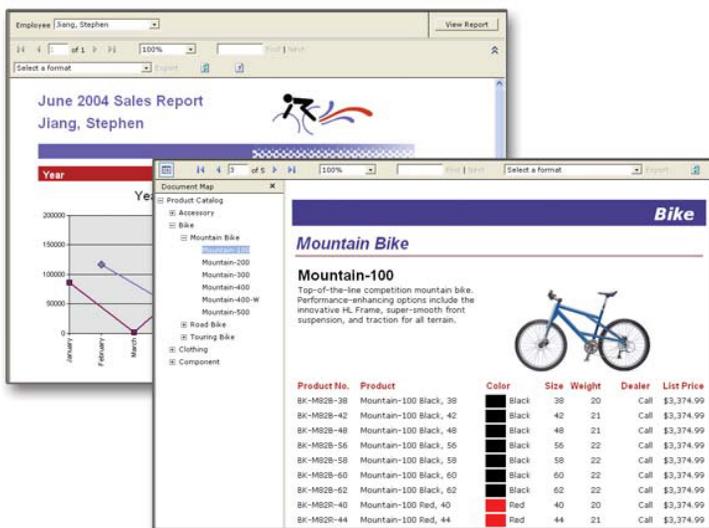
Microsoft® SQL Server™ 2000 Reporting Services

Microsoft SQL Server 2000 Reporting Services はサーバーベースの包括的プラットフォームであり、従来どおりの印刷目的のレポートおよび Web ベースのレポートを作成、管理、配布することを目的としています。Microsoft Office、および Microsoft SQL Server 2000 の既存のビジネス インテリジェンス (BI) およびデータ ウェアハウス機能を強化します。

Reporting Services を活用することで、ハイパフォーマンスで管理されたレポート配信環境を全社的に展開できるため、企業の実生産性は向上します。この環境の活用により、企業内の IT 部門は使い慣れた Web ブラウザ、Microsoft Office System、または埋め込みの業務アプリケーションを使ってすべてのデータソースからの情報をリアルタイムで提供することができ、その環境は従来のソリューションにない低コストで実現できます。

Reporting Services を導入することで SQL Server Analysis Services が強化されるため、適任者が適切な情報を入手することが容易になり、そのためのシステムはほとんどのビジネス環境で実現できます。

Reporting Services にはレポートの配信登録と配布の機能が、また、レポートのカスタマイズや異なるデータソースからのデータ統合が容易なため、IT 部門の作業は効率化されます。さらに、適切なレポートを適時に入手できるため、組織の意思決定力が向上します。



IT の生産性を向上

- ・最新のアーキテクチャ、自動化機能、ウィザード、生産性ツール、および高い制御精度により、IT 部門は重要性が
- 高い業務へのリソース集中が可能
- ・.NET Web サービス環境を介して多様なプラットフォームにまたがる通信を接続
- ・ツールセットが統合されているため、IT 部門は情報の開発および配布の一元管理が可能
- ・個人用レポートの動的配布により、多様なレポートを部門別に用意するためのレポートのカスタマイズ作業を効率化

広がるビジネス視野

- ・データへの迅速なアクセスにより、リアルタイムでの意思
- 決定を支援
- ・場所、時間、デバイスを問わずレポートの配布が可能
- ・既存のデータソースの活用
- ・対話型レポート配信機能により、詳細情報の参照が可能

高い信頼性

- ・デザイン スケールのモジュール化が容易
- ・高い信頼性とセキュリティ
- ・最高レベルのパフォーマンス
- ・SQL Server を使用したレポート定義の一括管理

高い経済性

- ・高額なトレーニングや IT リソースの増員によるコストが
- 不要
- ・他社製品と比べ低いソフトウェア コスト
- ・低額で実現できる BI インフラおよびレポート開発

FAQ

1) SQL Server 2000 Reporting Services を導入するメリットは何ですか。

- Reporting Services を導入することで、社員全体がビジネス インテリジェンスの裏付け を実感し、組織のためにより良い意思決定を下せるようになります。
- IT 担当者は、Reporting Services を活用することで、拡張可能で安全なレポート配信 環境を構築することができ、これにより、企業データの管理およびエンド ユーザーへの アクセス手段の提供とレポートの配布が容易になります。
- エンド ユーザーは、Microsoft Office System の使い慣れた高機能なツールを使って リアルタイムで情報を入手できます。
- 企業の意思決定担当者は、Reporting Services を活用することで、必要な情報をより 安全、正確、迅速な手段で適時に入手できるため、これに基づいて重要なビジネス上の 決定を下すことができます。

2) Reporting Services の具体的用途は何ですか。

- 企業レポートの配信 - 社内のセールス、財務、人事、給与システム用のレポート
- 埋め込みレポートの配信 - アプリケーションへのレポート処理の組み込み
- B2B レポートの配信 - エクストラネットやインターネットを介したビジネス パートナー向け レポート
- ポータルでのレポートの一元管理 - 共同レポート作成、LOB の統合

3) Reporting Services の仕組みはどのようなものですか。

- **レポートの作成:** レポートの作成者は、Reporting Services の XML RDL (Report Definition Language) をサポートしているマイクロソフトまたはサード パーティ製の作成 ツールを使用し、発行するレポートを作成できます。
- **レポートの管理:** レポート定義、フォルダ、およびリソースは、レポート配信用 Web サービスで発行および管理できます。管理されたレポートは、要求ベースで、または 定期的に行うことができ、整合性とパフォーマンス向上のためにキャッシュしておく ことができます。
- **レポートの配布:** Reporting Services は、要求ベース (手動で取得) およびイベント ベース (自動配信) での配布の両方をサポートしています。ユーザーは、Web ベース のフロントエンド アプリケーション上でレポートを表示する、または電子メールでレポート が配信されるように登録しておくことができます。



4) 導入は難しいですか。

Visual Studio .NET 2003 の強力で使い慣れた開発環境を使用できるため、将来性を考慮した拡張性の高いレポート ソリューションを簡単に構築および展開できます。また、SQL Server 2000 Reporting Services を導入することで、SQL Server、OLE DB、ODBC、Oracle などの .NET データ プロバイダによるデータを始めとする多様なデータ ソースに対するレポートの柔軟性が高まります。

5) ほかのレポート製品を導入済みの場合、Microsoft BI およびレポート作成プラットフォームに移行する必要があるでしょうか。

マイクロソフトは、現在市販されている中で最も総合的な BI およびレポート ソリューションを提供しています。これには、OLAP、レポート、データマイニング、ETL、およびデータウェアハウス機能が含まれています。基本設計段階から Web サービス アーキテクチャが組み込まれているため、コストと開発者およびエンド ユーザーの可用性を考慮したソリューションによって、高い拡張性とパフォーマンスを実現します。

Microsoft のソリューションとの統合:

- SQL Server DBMS
- SQL Server Analysis Services
- SQL Server エージェント
- Windows[®] Server 2003
- Microsoft Office XP/2003
- SharePoint[™] Portal Server 2003
- Visual Studio[®] .NET 2003

主な特長:

1. 従来からの印刷ベースのレポートおよび インタラクティブな Web ベースのレポート をサポート
2. Microsoft Office アプリケーションとの 強力な統合
3. 要求ベースとイベントベースの両方の配布 方法をサポート
4. 高い拡張性を持つ Web サービス アーキテクチャ
5. LOB、RDBMS、OLAP などの多様な データ ソースをサポート
6. Web サービス API およびグラフィカル ツールを使用した管理の容易さ
7. ドキュメント化された XML レポート定義 フォーマット
8. SV によるレポート配信機能のツール およびアプリケーションへの統合の容易さ
9. Visual Studio .NET と統合された グラフィカルなレポート開発環境
10. 多様なレポート フォーマットに対応
 - Web フォーマット (HTML)
 - 印刷フォーマット (PDF、TIFF)
 - データ (Excel、XML、CSV)
 - その他のフォーマットにはオープン API を使用